

朗報!

安定したほうれん草作りを助ける資材です!

ハイフミン ハイブリッドG



15kg ポリ袋

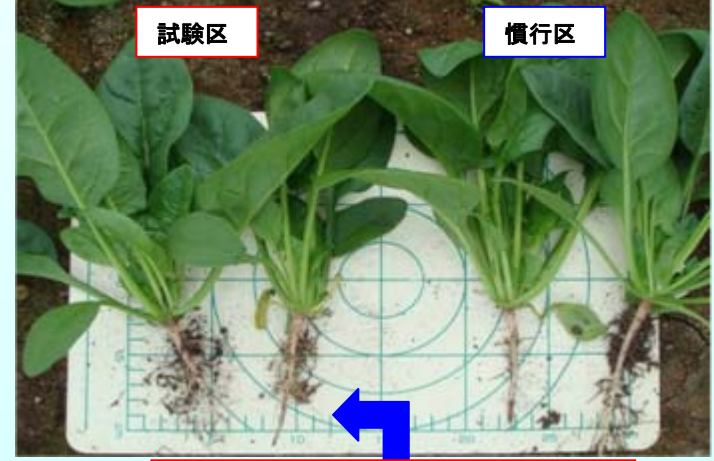
- ①欠株は土壌消毒しても完全には予防できない!
- ②土壌消毒+有用微生物の補給=安定した収量!
- ③腐植の効果で根張りを良くし、根の健全化!



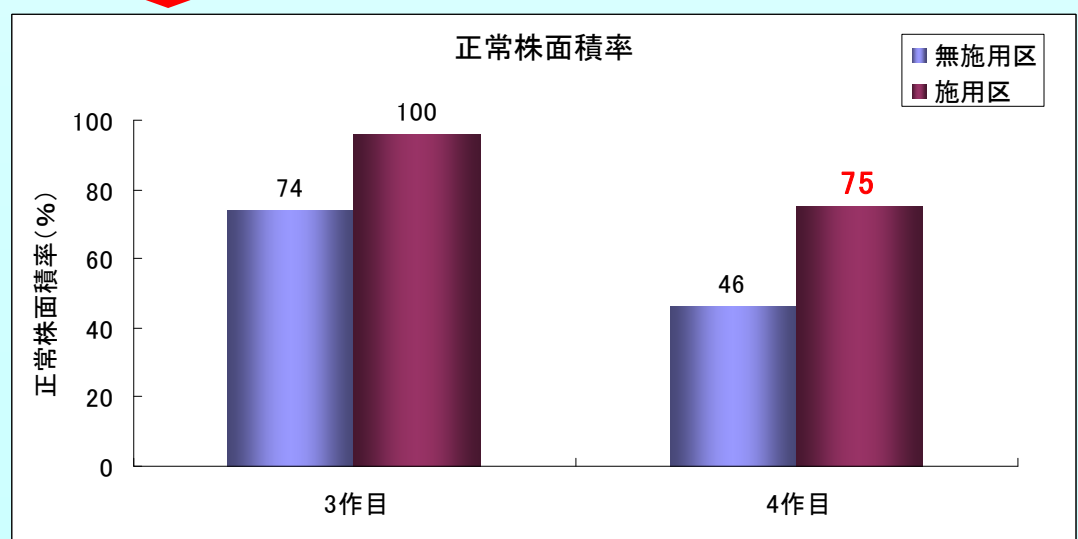
写真① 平成23年度高山市山口町 (4作目収穫直前撮影)



写真② 平成23年度高山市国府町 (越冬栽培5作目収穫物撮影)



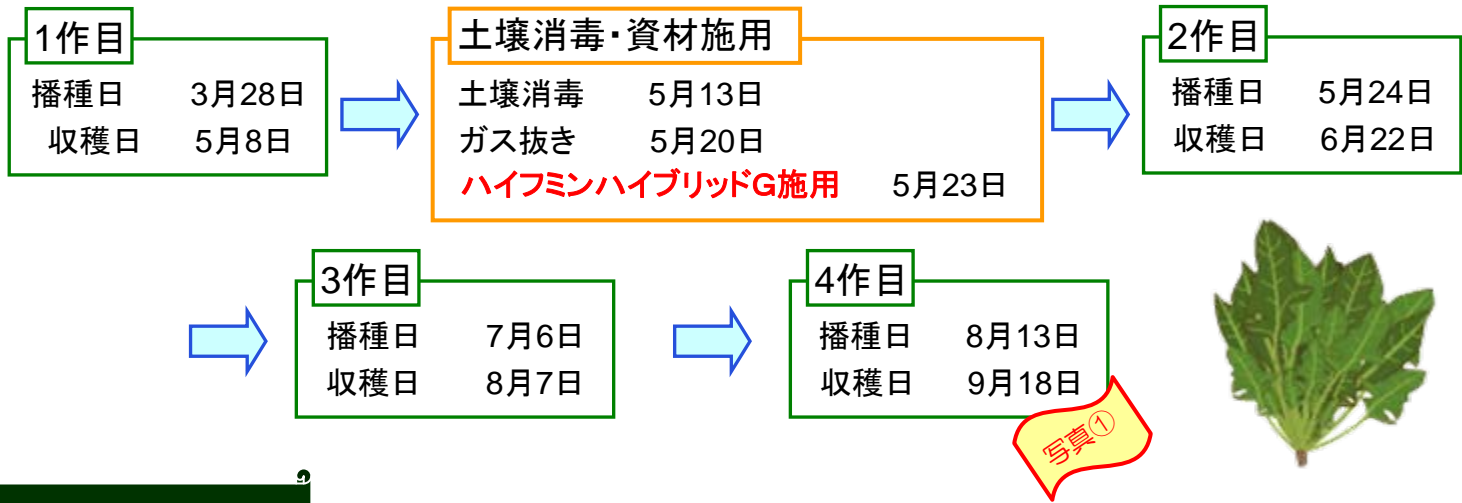
細根が多く地上部の生育が旺盛!



★試験(写真①)の詳細は裏面に記載してあります。

表面(写真①)の耕種概要

ほうれん草不耕起栽培4作事例



施用方法

① 10aあたり15袋～20袋を基準に施用して下さい。

施用例

・100m²あたり1.5袋～2袋

5.4m×40mのハウスでは…3袋～4袋

5.4m×50mのハウスでは…4袋～5袋



② 土壌消毒後、ガス抜き後に施用して下さい。

③ 散布後レーキなどで表面をならし土と良く混ぜて下さい。

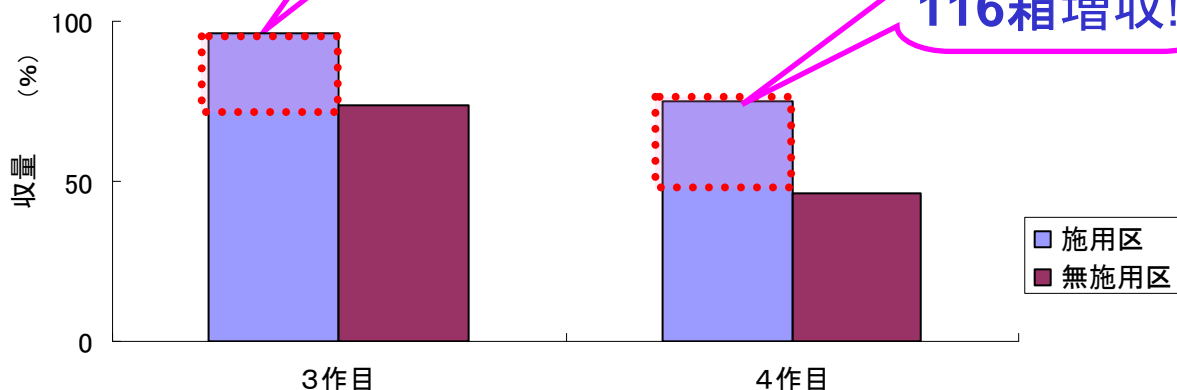
1作終了後にクロルピクリンで消毒、ガス抜き後に施用!

増収例

10aあたり
88箱増収!

地温の低い時期には欠株が少ないですが、地温が上がる3～4作では欠株が多く、土壌消毒後にハイブリッドGで「腐植+有用菌」を補給して増収を図って下さい。

増収効果の例



★資材の使用方法については、お近くの営農指導員又は資材店舗へお問い合わせ下さい。